

設立趣旨書

設立の背景

近年、少子高齢化による人口減少が急速に進展し「あらゆる職場での慢性的な人材不足」が大きな社会的課題となっています。今後、人口減少が加速し 2025 年には 583 万人の労働力が不足し内 38 万人の介護人材が不足すると推計されています。そして、地方の高齢化は緩やかとなる一方で、首都圏(神奈川・千葉・埼玉)は深刻さを増すと国は警鐘を鳴らし、地域独自の取組を求めています。また 2025 年には戦後の人口ボリュームゾーンを形成する「団塊の世代」が全員後期高齢者となり、高齢化率が上昇することにより、深刻な人材不足・医療/介護費の急増等々…社会に様々な問題が生じると予測されています。

【2025 年問題 / 3 人に一人が高齢者に… / 4 人に一人が後期高齢者に…】

労働力不足 **583 万人** を人口比率より推計した各市の不足人材数

流山市 (7,982 人) 柏市 (18,958 人) 野田市 (7,042 人)

介護人材不足 **38 万人** を人口比率より推計した各市の不足人材数

流山市 (520 人) 柏市 (1,236 人) 野田市 (459 人)

設立の目的

本年、2019 年 4 月 1 日に「人材不足/2025 年問題」課題解決の一助とすべく、出入国管理法の改正が行われ、新たな外国人労働者の受入れ枠として「特定技能制度」が施行となりました。

一般社団法人 RAF〈地域活性化連合会〉(以下「当団体」)は、国の施策方針と相まって流山市を発進とし柏市・松戸市・野田市へ「外国人材送出国との相互理解促進ならびに特定技能労働者の受入」を進める中、産業界・公益活動団体・教育/福祉機関ならびに行政との広域連携を築き、**多文化/多世代の共生地域の構築**を目指します。そして令和の新たな時代へ向けて、国籍・思想・年齢・性別・ライフスタイルなどに固執することなく**多様な人材を受け入れる = ダイバーシティ**を実現し東葛飾地域の振興ならびに活性化を図ります。

実施事業(目的達成の手段)

1. 国際交流授業《SKY PARTY》の実施(流山市教育委員会と連携)
目的: 相互理解の促進・地域学生の国際的視野の醸成・国際コミュニケーション能力向上
2. 特定技能外国人労働者の送付/受入ならびに入国後支援(企業・福祉機関/行政と連携)
目的: 労働力の確保・相互理解の促進・若い人材の受入より職場～地域の活性化
3. SDGs(持続可能な開発目標)の設定と事業実施(企業・教育/福祉機関・行政と連携)
目的: ダイバーシティ共生/共助社会の構築・地域振興/活性化

当団体について

当団体は設立代表理事・坂巻儀一の 39 年に及ぶインドネシアとのつながりより築かれたネットワークと他理事 2 名(中尾/ベトナム・郡/フィリピン)の現地との緊密な関係、またその志に賛同する有志(石川・蓮見・馬場・石塚)の 7 名により令和元年 8 月 5 日に発起設立されました。設立後 8 月 30 日に「特定技能制度/登録支援機関 登録申請」が出入国在留管理局に受理され 11 月中に特定技能労働者の受入が可能となります。尚、行政との連携を進めるにあたり、より高い公益性と信頼度の確保の為、現在 **内閣府の公益認定**の手続を進めております。